

知床の森から



北見営林支局
知床森林センター

☎ 099-41 北海道斜里郡斜里町本町1番地
☎ 01522-3-3009 FAX 01522-3-3160

みずみずしい

新緑の森林探勝

「森林レク・in知床」

雪解けの遅れと春の天候異常で実施が危ぶまれた第17回「森林レクリエーション」『新緑の森林とボンホロ沼探勝』は、6月13日地元北見市・女満別町・斜里町から36名が参加して新緑の自然観察教育林で行なわれました。

この教育林はいま木々の若葉がみずみずしく、勢いよく流れる「から沢」を石伝いに飛び渡りトドマツの花粉の付いたササ原、開花前のコヨウラクツツジ、地表にはクルマバソウ・ヒトリシズカが可憐な白い小花を咲かせ、開花前のツクバネソウが出番をまっっており、遅咲きのエソヤマザクラの花びらが風に運ばれて散っているなど春の雰田気に溢れています。

たっぷり水をたたえた「ボンホロ沼」ではエソアカガエルのオタマジャクシやエソサンショウウオの幼生が元気よく泳ぎまわっていました。やがて干上がるこの沼はいまは水中の幼い生命を優しく育てているようでした。

小鳥の声・蝉しぐれの中、思い思いの服装の一行は歩行途中にシイタケを発見したり、積雪時エソソカに樹皮を食われた立木の群に目を見張ったり感動したようです。歩きながら耳に入った「いいなあ、こういう楽しさがあつたのか！」初めてこのイベントに参加した70代のご老体のつぶやきが心を打ちました。

昼食はオホーツク海を見下ろす草原で、高く低く飛び交うツバメを眺めながらとり、帰りは林間の小径をそばを流れる沢の音を聞きながらゆっくり下がりしました。

日常生活から一歩踏み出し、知床の森林という自然の中で、心地よい汗とともに探勝した新緑の世界、がすかすの印象と充足感にひたつた3時間でした。



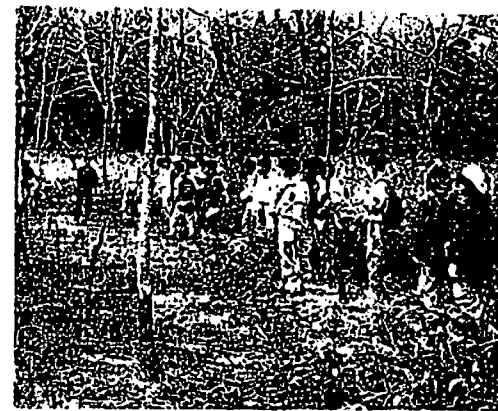
森林にはずむ声！ 春の『受託事業』より

森林インストラクターの活用による森林レクリエーション受託事業で、知床森林センターでは「自然観察教育林」を舞台に4件の事業を行いました。

5月26日	自由の森高校	教師生徒32名
6月10日	霧立布高校	56名
6月15日	別海高校	41名
6月22日	阿寒高校	75名

知床の自然や森林と林業（私たちの生活とのかかり）・森林内の諸様相の説明に生徒のみなさん興味深げでした。

そして起伏や変化に富んだコースを進みながら、林内には若くしく弾んだ声飛び交っていました。安易に人を寄せつけない知床の奥深い自然を体験した生徒のみなさん、きっと良い記念となっていつまでも心に残ることでしょう。今後も発展させたい意欲ある事業です。



ばんほろ沼を探勝する霧立布高校の生徒さんたち

意義ある仕事！

畑 隆雄



6月1日付をもって知床森林センター所長を拝命いたしました。当センターは発足以来6年目になり、初代・先代所長のご努力でセンター業務も充実されました。

わたくしも先所長所長の教かれたレールに沿い、森林・林業についての理解の増進と普及に努めてまいりたいと思います。人びとの自然を見る目が変わってきている昨今、広大な知床国有林をフィールドに展開される当センターの諸業務はまさに意義ある仕事です。みなさまのご支援ご指導をおねがいいたします。

.....知床異常！.....

今春の知床は天候が異常でした。視覚的には流水の長居につきます。南風に動きだした流水が斜里海岸から去つたのは5月9日。紋別市の第1管区海上保安本部の流水情報センターが店閉まいしたのが5月26日で13日も過去最長記録を更新したという。また5・6月も天候不順で5月26日から降りだした雨は高山部で雪となり、知床横断道路は翌日から全線交通止め、それが6月4日まで続いた。

雨と日照不足は農業や他の人間活動に影を落している。

でも知床の自然はしたたかで、森林空間はいま生命活動に満ちている。動物も植物も限られた1年の時間の中で設定されたスケジュールをこなしている。自然の営みはいつの場合も人知を超えているようです。